

ま 真室川町

# 議会だより

2018年7月25日

No. **143**

|                       |    |
|-----------------------|----|
| 梅里苑指定管理へ（議案審議） .....  | 2  |
| 一般質問（7人登壇） .....      | 4  |
| 臨時会・議会のうごき .....      | 10 |
| 商工会、区長会との懇談会 .....    | 11 |
| 町政の執行状況を調査（所管事務調査） .. | 12 |
| 町民の声 .....            | 14 |

元気いっぱい、「いってきます」  
～釜淵保育所への登所の様子～

# 真室川温泉 梅里苑 指定管理者制度 導入に向けて

6月定例会は、18日から20日までの3日間開催され、委員会委員の選任同意、条例の改正、建設工事請負契約、物件購入契約、各般会計補正予算など議案9件を慎重に審議し、原案のとおり可決しました。主な質疑の内容は次の通りです。

## 【各会計補正予算】

### ◆一般会計

#### 指定管理者制度導入

**平野議員** 具体的な内容は。

**交流課長** 移住交流推進機構のポータルサイトを通じ梅里苑の指定管理者制度導入に支援いただける企業を募集したところ、東京の一企業から応募があった。指定管理者制度に関するコンサルティングや外郭団体の経営改善を中心とした経営コンサルティングを主な業務としており、梅里苑の指定管理者制度導入に大きく寄与されると期待している。

**外山議員** 今年度どういう取り組みをやっているのか。いつまでに結論をだすのか。

**交流課長** 予算可決を受け当該企業と業務委託契約、施設の現状把握と問題点の調査、（仮称）指定管理者制度導入検討委員会の設置及び開催、その後指定管理者募集要項、施設の概要、業務基準仕様書の作成に入り、9月議会に向けて条例の一部改正を行いたい。その後公示と業務協議開始を受け、早ければ31年度中の導入に進めたい。その後当該企業には施設の運営サポートを行っていただく考えである。



指定管理に向けて検討の始まる梅里苑

**外山議員** 契約する会社はどんな会社か。

**交流課長** 指定管理者制度に精通し、コンサルティングを専門とする会社。全国的にも実績がある。当該企業と今後、指定管理者制度の導入事務サポートをしてもらう考え。総務省の事業を使い長け

ば3年間サポートしてもらう。プロの意見をもらうことで行政マンのサポートをもらえる」と期待。すべてを任せるのではなく行政のサポートと考えている。

**成子議員** 梅里苑の指定管理者制度導入となった場合についても町活性化を図るため雇用や物品購入等において現状維持の体制にもっていけるのか。

**交流課長** 相手先と現状維持ということで相談しつつ考慮していく。

#### 町民体育館屋根補修

**正議員** 町民体育館の屋根の補修工事はどの程度まで行うのか。

**教育課長** 屋根の1、2枚のボタンが変形していてボルトのあるところに隙間があり雨漏りしている状況。原因

を特定しているため、その変形した部材の交換である。

#### 叙勲受賞祝賀会経費

**平野議員** 祝賀会経費に公費を入れることには批判もある。見直しの考えは。

**町長** 叙勲者の人脈などの違いで顕彰が出来たり出来なかったりするのはいずれ。広く町民への貢献なので、町が責任をもってすべき。以前だされたのは飲食費の不足に公費を支出するのはまずいという批判で、私もそう認識している。今回計上するのは祝賀会にかかるパンフレットの印刷費とか写真とかで、飲食費や当人のお返し

題ないと認識している。

#### 町外保育所入所委託料

**平野議員** どういう事情で発生したか。

**教育課長** 町内の年中児童一人が新庄市内の私立保育園に入所することになったための措置。保育の必要性は町が認定したが、施設選びの段階で、町内施設では7時から受け入れてもらいたいとの希望に応えるのが困難となり、町外施設との調整で受け入れ可能となったため委託した。

**一廣議員** 希望の時間で受け入れられない体制で今後も臨むのか。これからその子は年長まで町外の施設にお世話になるのか。

**教育課長** 早朝預かりには職員2人を配置しなければならぬ。当該保育所だけでなく全

町の保育体制の検討となる。今後、町全体の保育サービスがどうあるべきか、どの程度のニーズがあるのか、こども子育て計画を平成32年度改定の予定で、その中で研究していく必要がある。当該児童については、現状のままでいかざるを得ない。

#### 病院事業会計交付金

**平野議員** 今回の賠償金の原資だが、保険の方でもう少し出してもらうことはできなかったのか。

**病院事務長** 保険会社の調査で、事故前の別部位の障害の等級が当院での事故による障害より重かったため、障害は重くなっていないという判断だった。これ以上は支払えないと。保険会社とも交渉を重ねたが、障害等級のみ

で判断し、裁判も辞さないという回答であったため、これ以上時間はかけられないと判断した。

#### 森林トロッコ列車

**菅原議員** 125万円と大きな金額だ。内容は。

**交流課長** 枕木200本交換などの軌道修繕、車両車輪の交換等を行った。4月29日に試運転したところ、運転手が線路上に長さ30センチの鉄柱を発見。トロッコ台車と客車を接続するセンターピンだった。経年劣化による金属疲労と思われる。これは既決予算内で修繕した。

**一廣議員** 以前にも枕木が損傷して修理した。トロッコは珍しいのに、せっかく来たのに乗れなかった、ということ



パレードの様子

#### 連合婦人会補助金

があった。常に点検整備をしながら活用していかないとけない。補修や修理は事前に予算計上し、ゴールデンウィークを外さないように運用すべきではないか。

**菅原議員** 当初予算でも50万円の補助金が出ている。なぜ約100万円の追加が出たのか。

**教育課長** 婦人会には観梅会や真室川まつりパレードで踊りの中心となつて活躍していた。その際使用する衣装、浴衣と帯の購入に関する補助金50着相当分。補正で出したのは、踊り手になれる婦人会員が少なくなっており、これ以上担い手を減らさないために、今年の夏のお祭りにあわせて衣装を更新し、踊りの担い手、婦人会活動が停滞しないように緊急的に応援してもらいたいとの団体の要望に応えたため。

#### 森林計画作成

##### 予備調査委託料

**一廣議員** 内容の説明を詳しく。

**農林課長** 県の現在の森林計画は27年4月1日から10年間の計画だが、5年に一度見直す。31年度に見直し、32年から向こう10年間の計画を策定する。その予備調査で、森林簿に記載されている森林の所有者、地目等、記載事項について、変更点について調査しながら最新のものに更新していく。そのデータ更新に役立てていく。

**一廣議員** 民間、国有林、県有林問わずすべて対象とした予備調査か。また、その後の使い方は。

**農林課長** 県は民有林における地域森林計画を策定している。町でもそれを受けて町の森林整備計画を策定しており、計画的な伐採、造林、保育、作業路網等の建設と森林の整備の活性化に向け取り組み



んでいく。国有林は国の森林計画の中で国自体が作成している。

#### ◆町立病院事業

既決予定額

10億1100万円に400万円を追加。

#### ◆固定資産評価審査委員選任の同意

渡邊 一枝 氏  
(末広町一)

#### 高橋議員

同委員は年間どれぐらいの活動日数があるのか。また、報酬はどのようになっているのか。

#### 庄司町民課長

最近は固定資産税に対しての不服の申し立てはなく、活動は委員研修の目的で年1回程度であり、報酬については、町の報酬条例に基づき、1回につき2千円である。

#### ◆町税条例の一部改正

日本赤十字社所有の軽自動車の非課税範囲を広げるもの。町には対象車はない。

#### ◆工事請負変更契約

矢ノ沢橋補修工事

PCB含有塗料の処分に係る増額変更契約

金額 現契約1億260万円に867万円を増額

相手 神室工業(株)

#### 正議員

PCB含有塗料を使用した橋梁は町内にどのくらいあるのか。

#### 建設課長

矢の沢、小又、及位の橋梁について昨年発注後に厚生労働省からPCB、鉛、クロムなどの剥離の改正有害物質について国土交通省に通告あり、剥離の方法を変更。その後詰田沢橋、谷地の



矢の沢橋の補修工事の様子

沢橋等の補修工事に入るが、その都度含有測定を行い、PCBと有害物質の検査を行い含有の際には処分する方法を検討していく。

#### 正議員

今後橋梁補修に使用する塗料については。

#### 建設課長

PCBと有害物質の入っている塗料を使わない。

#### 一廣議員

PCBの処

分方法はどうか。建設課長 有害物質があるものは特別管理廃棄物となる。一般の処理場では処理できないため、委託業者で秋田県の特定制理場で行う。

#### 一廣議員

PCBの量については。建設課長 矢の沢橋の面積は、840㎡の処理を行っている。産業廃棄物は1590kgで

ある。また、運搬費も経費に加算している。

#### 外山議員

今後のPCBの入札方法は。

#### 建設課長

事前にPCBの調査の上、入札を行う。

#### 大友議員

塗料にPCBが含まれているのか。発注前にPCBの調査によって橋梁の工事内容が変わってくるのか。

#### 建設課長

矢の沢橋はすでに発注されていたことから工法の変更で積算の仕直しを行った。今後、塗装工を行う場合は事前に調査しその後積算を行いたい。

#### ※PCB

二つのフェニル基が結合したビフェニルに塩素が多く付加している化合物の総称。化学的に安定で、絶縁油・熱媒体・可塑剤・潤滑油などに広く使われたが、生体に蓄積され有害なので、現在は使用禁止。ポリ塩化ビフェニル。

#### ◆除雪車購入契約

入札 指名競争入札

金額 4255万2千円

相手 寒河江重車輛(株)

#### 栄子議員

この除雪車による除雪路線は。また、「小学生の通学に支障をきたさないように」という声への対応は。

#### 建設課長

除雪路線は真室川地区で木ノ下高沢線、東町など。冬期間の通学路確保には、オペレーターが通学に支障ない時間帯に作業できるような体制でいきたい。

#### 菅原議員

通学時間帯の除雪は危険を伴う。安全に配慮しながらやっていただきたい。機種によっては幅が広くて集落内に入らず、広いものが来たあと狭いものが来るなど、効率の悪いやり方になっているところがある。効

率よくできるような機種体系にしていたきたい。

#### 建設課長

除雪の開始時期にオペレーターに安全講習を行い、十分安全確保に努めるよう指導している。効率についてはオペレーターの意見も聞きながら検討していきたい。

#### ◆損害賠償額の決定

#### 一廣議員

今回の医療事故はこれで終結か。

#### 病院事務長

本日付けで示談となる。

#### 栄子議員

山形新聞掲載により風評被害を想定しながら、病院運営を行う上で被害者との示談の進め方はどうだったか。

#### 病院事務長

この度の対応としては、損害額の金額を決定する当院加入の医師賠償責任保険Ⅱ保険会社の保証を

待っていた。被害者とは、了解を得ながら示談を進めてきた。

## 故 佐藤勝徳議員への追悼演説 (平成30年第2回定例会)



今定例会の開会に当たり、5月19日に逝去されました故佐藤勝徳議員の、ありし日の元気なお姿を偲び、今ここに謹んで追悼の言葉を申し上げます。

この議場の7番議席におられた佐藤勝徳議員の温厚なお姿に接することが出来ないことは、議員一同痛切の念に堪えません。かけがえのない貴重な議員を失ったことは、本当に残念でなりません。

平成21年3月に町議会議員選挙に見事初当選して以来、これまで副議長も歴任され年長議員として常に我々議員の良き相談役となり、昨年4月からは総務文教常任委員長、最上地区広域連合議会議員の要職につかれ、常に町民福祉の向上を第一に議員活動に取り組まれてきました。

また議員就任前は町教育長として、真室川町の次代を担う子どもたちの教育行政のトップとして尽力されてきました。子ども達は勿論のことその指導に当たる先生を中心とした教育関係者とも、親睦を深めながら強い信頼関係と多くの人脈を築き上げられ、改めて佐藤勝徳議員の人徳がいかに大きなものであったかを痛切に感じております。

多くの仲間と共に謹んで哀悼の意を表しご冥福をお祈り申し上げます。

そして天にありましてもご遺族皆様の前途にご加護を賜りますようお願い申し上げますとともに、本町の発展と平和を見守りいただき安らかなるお眠りをご祈念申し上げます。

佐藤勝徳議員、これからはあなたの見識と情熱を心に刻み、議員一同、真室川町発展のため全力を尽くすことをお誓い申し上げ、追悼の言葉といたします。

平成30年6月18日

真室川町議会 副議長 外山正利



外山議員演説風景



## 保護司活動に対して町で報酬の補助をしてはどうか

町長

■実態調査し、支援を検討していく



外山 正利 議員

**議員** 現在、当町に8名の保護司が法務大臣から委嘱を受けている。非常勤の保護司の活動の実態は。

**町長** 保護司は、犯罪や非行をした人の立ち直りを地域で支える活動を担っていただいている民間のボランティアである。真室川町においては、8名の方が保護司として、罪を犯した人々の社会復帰や青少年の非行防止などの

対応にご尽力いただいている。

当町の保護司の方々については、一定の年齢層に集中している状況にあり、年齢的に今年度2名来年度2名の方が退任されることになり人材確保が課題となっている。

**議員** 保護司の報酬は保護司実費弁済金支給規則に基づいて支払われている。国・県・町でも同様に社会に貢献している方がいるが、これらの方々に町で報酬の補助などの考えは。  
**町長** 報酬等への支援は、第一義的に国の役割であると考えているが、

## 建築業者の後継者育成のため表彰制度創設の考えは

町長

■他市町村の実例を参考にして表彰制度の創設に取り組む



佐藤 正 議員

**議員** 当町の建築業、大工等の技術継承と後継者不足の解消に町独自の表彰制度を創設する考えは。

**町長** 当町でも卓越した技能を伝承するため、表彰制度の周知や住宅リフォーム等の受注機会が増えるよう各関係団体へ働きかけ、具体的な検討を進めて表彰制度の創設に取り組んでいく。

### 林道について

**議員** 林道等の管理について伺う。

**町長** 林道許可利用団体や受益者・関係地区の協力も頂きながら効率的な維持管理を推進する。

### 新学習指導要領

**議員** 学習指導要領対応のについての考えは。

**教育長** 小学校3、4年生で「外国語活動」として1時間、年間で35時間。「聞くこと」「話すこと」実施記述による評価。また、

## 関係人口の創出

町長

■魅力ある町づくりを一丸で



菅原 道雄 議員

う仲間である「関係人口」が増えれば暮らしている人々も勇気付けられ、地域が抱える課題の解決の手助けになると考えている。

**議員** 定住・移住だけでは関係人口の創出が重要と考える。多くの人々から知恵を借り、町の魅力づくりをし、人口減少率県内ワースト1から脱却すべき。

**町長** 「地域に関わってくれる人口」過疎化が進む地域の活性化に向けた考え方としてクローズアップされている。地域をどうにかしたい、応援したいという

### 農業委員会への提言

**議員** 農地付空き家や野菜作りをする畑を求めたいが、農地法の下限面積要件50aがあり取得できないとの声を聞くが、下限面積要件の緩和を農業委員会へ提言すべきと考えるが。

**町長** 新規就農者、認定農業者を目指す際の目標とする所得額が、350万円であり、それを達成するには50aは妥当な面積であり、稲作思考の強い本町の農業振興を図る上では必要最低限の経営面積であると考えている。しかし、

これまで以上に積極的な移住・定住対策を実施しながら、人口



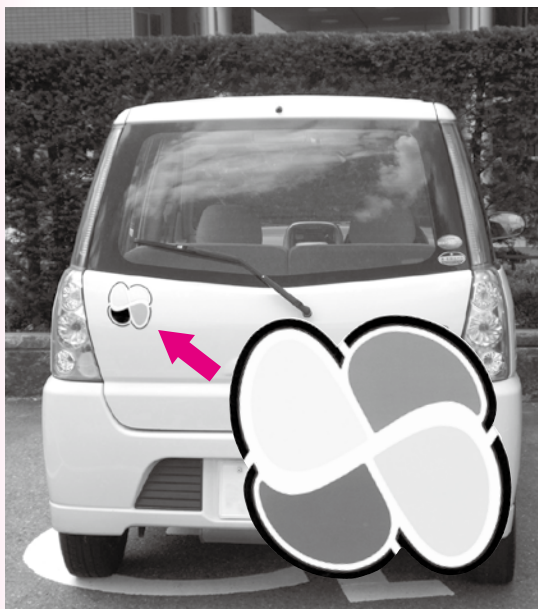
空家は買えても農地は買えない

当町における民生委員協議会への補助を事例とし、国・県・市町村の補助の実態等について調査を行い、保護司活動に対する支援について検討していく。

体の3割弱と、決して事故率は高くない。高齢者が元気で車を運転し町に出て買い物等する事により、町の経済に大きく寄与するものと考えているが。

**高齢者の運転免許更新時の講習費の半額補助の検討を**

**町長** 高齢者が健康で元気に社会で活躍して頂く事は、地域経済の活性化など当町の活力の創出に繋がる大変重要なことである。町として、こうした点もふまえ調査研究を行う。



高齢運転者標識（もみじマーク）



整備された林道



## ■鮭延秀綱を映画化、大河ドラマに

町長



高橋 秀則 議員

■町が大きな夢を持つことは大切

きな夢を持ちながらも、まずは、町民に町の歴史や文化を浸透させていくことが大切と考えている。

議員 町の活性化と知名度アップをねらい、本町の歴史的な人物、鮭延秀綱を映画化、さらには、NHK大河ドラマに要望してはどうか。

町長 鮭延秀綱を映画、または大河ドラマが実現すれば、地域の活性化や観光分野をはじめ大きな経済効果が期待される。しかし、これらの実現化までの道のりは決して容易でないことが推察される。大

議員 本町のエネルギーの自給率を高めるには、町の特性を活かした自然エネルギーの利用が最適と考える。風力、水力の発電を考えてはいないのか。

町長 本町はこれまで木質バイオマスによる熱エネルギーや太陽光発電に取り組んできている。風力発電について

## ■医療・福祉の現状と課題は

町長



佐藤 成子 議員

■関係機関と連携しながら人材確保に取り組んでいく

議員 医師、看護師、介護士不足について伺う。

町長 町立真室川病院については内科医2名、整形外科医2名が常勤しているが、国の定める医師標準数に満たないことから山大病院や県立新庄病院からの医師派遣等を受け診療にあたっている。看護師数については、現在36名である。運営可能な看護師数は確保しているものの、女性特有の

休暇等が出た際は職員全体で補っている。「もがみ看護師確保推進ネットワーク協議会」を通して確保していく。

議員 介護職員の報酬について他施設との比較は。町長 厚生労働省と最上総合支庁の平成28年度の関係資料によると、本町の5事業所の平均月額額は全国との比較で6000円程下回っているが、県内44事業所の平均月額では25000円程上回っている。賃金水準について町行政が関与すべきものではないが、職員の高齢化など雇用に係る課

## ■町職員の労働実態の把握と健康確保対策を問う

町長



平野 勝澄 議員

■衛生委員会の機能を活用し、対策を講じていく

議員 職員の心身の健康を確保し、退職時まで元気に働いてもらうことは、個々の職員の命と健康を守る観点でも重要なが、同時に町民のくらしと福祉を守るためにも重要だ。

町長 健康診断は年一回、人間ドックは一定の年齢時に、歯科検診等についても希望者が受診できることとしている。平成28年度からは健康診断にあわせて

ストレスチェックを行い、高ストレス該当者については産業医による面談指導を実施している。その他、町は事業所として労働安全衛生法に基づき、産業医、衛生管理者、管理職員、職員団体代表者で構成する衛生委員会を設置している。今後も、その機能を活用しながら、職員の健康管理や安全衛生の向上に取り組む、さらに必要な指導・対策を講じていく。

この3年ほど一人あたりの年間時間外勤務時間は90時間程度で推移しており、目安とされる年間360時間を

では、県の調査の結果、町内には風力発電の適地とされる箇所は残念ながらなかったが、今後、町内における風力発電の可能性を調査研究していく。また、水力発電については、平成22年度に町独自で調査を実施した結果7箇所を候補地に選定し、有望な2箇所について事業化を目指したが費用対効果の面などから

難しいと判断した。県の調査においては、町内3箇所が適地として抽出されている。事業化に向けては、採算性、維持管理費等の多くの課題はあるが、今年度見直しを予定している町の「新エネルギービジョン」で施策の方向性を検討していく。

議員 金山町では落花生の生産や、県一丸となつてのサトイモの増産が聞かれる。本町の新たな取り組みは。

町長 副町長や教育長、地域担当職員が同行していく形で、町政座談会としてスタートしている。今後も若い方や女性の方からも参加頂き活発な会にしていく。

議員 今後の取り組みは。町長 副町長や教育長、地域担当職員が同行していく形で、町政座談会としてスタートしている。今後も若い方や女性の方からも参加頂き活発な会にしていく。

議員 年間だけでなく、週単位、月単位で目安時間を超過していないか把握すべきだ。



歴史ブームで人気の鮭延秀綱

議員 金山町では落花生の生産や、県一丸となつてのサトイモの増産が聞かれる。本町の新たな取り組みは。町長 冬季の新たな取り組みとして雪室野菜の生産に取り組み農家がある。強い農業を目指していく。



町立病院のナースステーション

議員 今後の取り組みは。町長 副町長や教育長、地域担当職員が同行していく形で、町政座談会としてスタートしている。今後も若い方や女性の方からも参加頂き活発な会にしていく。



職員の健康確保は重要

### 他の質問

●崩落危険個所の把握と対策は



# 交流人口と人口増に向けた政策について

町長

## 雇用創出や地域経済の活性化を含め地域創生に結びつけて行く



佐藤 栄子 議員

**議員** 空き家バンクの登録と情報発信の状況は。

**町長** 現時点での登録はなく、情報収集を行っているところである。登録の呼びかけをホームページや区長回覧で行っており、解体費用の助成事業も行っている。

**議員** 町の空き施設等を利用した食の発信と雇用で地域創生に繋げる考えは。

**町長** 本町の魅力を高めるとともに、それを積極的に町内外に発信してゆくことが重要と考え、「食」の発信は、地域創生に向け大切な取り組みである。

育旅行受け入れの態勢構築」があるが、受け入れ態勢について伺う。  
**町長** 廃校利用等の活用で受け入れ態勢など検討し「地域の食をテーマにした連携企画の構築」について調査研究を行っている。

を受けて新規就農も増えている。将来の担い手となるように関係機関と連携支援している。  
**議員** 町営バスを活用した企業PR（ラッピングバス）で人口増につなげる考えは。  
**町長** 1日当たりの平均乗車人数は、約180名であり、地域密着型のPRが可能な広告媒体と考えられる。人口減少の進行する中、移住・定住の促進を図ることが大きな課題と考えている。

**議員** 具体的にどう活用されているのか。  
**町長** 「及位中学校での工場利用」、「差首鍋小学校での地域交流拠点利用や加工施設利用」、「及位保育所での倉庫利用」など、各分野にわたり、有効に活用されている。

**議員** 人口増に繋げる園芸作物の取り組みは。  
**町長** 真室川のブランド認定品として高評価を得ているところであり、繁忙期のパート雇用で、ニラで40人、ねぎで10人ほどの雇用がある。次世代人材投資資金の交付で、就農認定



「食」の発信拠点のひとつ、まざれや

## 第2回臨時会 ●5月14日(月)

### 専決処分の報告

契約相手

### ○町税条例の一部改正

庄司工業(株)

### ・個人住民税の課税要件の改正等

・たばこ税の段階的引き上げ

### ◆小型動力ポンプ

積載車等購入契約  
指名競争入札

契約金額  
1681万8664円

契約相手

近藤防災(株)

### ◆町道中村高坂線災害

防除工事請負契約

指名競争入札

契約金額

1億152万円

## 商工行政の意見交換会

◇7月6日(金)

もがみ北部商工会真室川支部役員と議会との意見交換会を開催しました。

商工会側からは、商工会の業務状況の報告、小規模事業者等振興条

例の設置推進について情報提供を受けました。議会側からは、町の商工業及び観光の振興方策について、議員各自の考えに基づき、活発な意見交換を行いました。

## 町区長会との懇談会を開催

◇7月9日(月)

議会では例年町区長会(庄司忠美会長)の方々との懇談会を開催し、よりよい町政をめ

### 6月定例会報告

に取組んでいる事例が挙げられました。

各地区においては、公園、神社、公民館敷地の草刈り作業や、地域伝統行事の取り組み、また自主防災組織作りなど、恒例行事や独自

議会からは、6月定例会での、議会の会期、提出された議案、議事日程、一般質問の項目などについて報告を行

町民から付託され議員として選任されたことから、一つ一つの議案を議決するということの重さ、町民の声を町政に反映させるという大きな使命を改めて感じているところで



区長会との懇談会

また、商工会女性部の活動発表として、女性部代表として斎藤美香さんから報告をいただきました。  
斎藤さんは、6月12日開催の山形県商工会女性部連合会の主張発表県大会で最優秀(県知事賞)受賞され、7月11日に札幌市で開催される東北6県・北海道ブロック大会に出場します。

# 議会のうごき

H30年5月～7月

5月3(木) 姉妹都市「古河市」との交流会

14(月) 町議会第2回臨時会、町林活議員連盟総会、常任委員会

28(月)-29(火) 議長・副議長全国研修会

31(木) 県町村議会広報研修会

6月8(金) 町議会運営委員会、全員協議会

12(火) 要望活動(新庄・湯沢地域間高規格幹線道路建設促進同盟会)

13(水)-14(木) 県町村議会議長会臨時総会

14(木)-15(金) 中央要望活動(議長のみ：新庄・湯沢地域間高規格幹線道路建設促進同盟会)

18(月)-20(水) 町議会第2回定例会

21(木) 最上地区広域連合議会運営委員会、全員協議会

25(月) 最上広域市町村圏事務組合議会運営委員会  
最上地区広域連合定例会

27(水)-28(木) 所管事務調査(総務文教常任委員会)

29(金) 県林活議員連盟定期総会

7月2(月) 最上広域市町村圏事務組合臨時会

4(水)-5(木) 所管事務調査(産業福祉常任委員会)

6(金) もがみ北部商工会真室川支部役員との意見交換会

9(月) 町区長会・衛生組合連合会との懇談会

10(火) 山形森林管理署最上支署長との懇談会

12(木)-13(金) 町議会常任委員会県外先進地視察研修

19(木) 遊佐町議会視察(来町)

○議会広報常任委員会の開催(7/2、7/6、7/10、7/18)

※この他、町主催の行事にも出席しております。

伝言板

春夏秋冬

朝ごはん条例が制定されて1年になりますが、しっかりと食べていますか。一日の原動力となる朝ごはんを食べることによって、その日の健康管理にも繋がっていくことはいうまでもありません。

さて、わが町最大の癒しの場といえる「梅里苑」経営について少しずつ動きが出てきました。どのような方向性になっていくのかを見据えながら、より良い利便性が図られる場となるよう努力してまいります。



総務文教常任委員会

6月27日・28日

(所管する課)

総務課・町民課  
会計室・教育委員会  
(調査した箇所、  
評価及び指摘事項)

○町立3小学校、中  
学校の現状

(学校の共通事項)

・学校施設、通学  
路の安全点検を再  
度徹底されたい。

・副教材費の無償化  
により保護者負担の  
軽減につながってい  
る。早めの購入を。

(真室川中学校)

・長年の懸案事項で  
あったグラウンド整  
備に着手。早期完成  
に向けた努力を。



水はけの悪い真中グラウンド



真小1年生の親子はみがき教室

児教育の充  
実に向けた  
具体的方針  
の提示を。

○真室川こ  
ども園の

経営状況

・昨年と  
比較し保育  
士の採用が  
改善された  
が、多様化  
する保育ニ  
ーズに対応  
できるよう  
今後も計画的な採用を。

・保育ス  
ペース、会  
議室等、増  
設の検討を。

○差首鍋地区生涯学習  
センターまざれや運  
営概要

・年々利用者が減少  
傾向にあるので、特  
に団体客を対象に地  
域伝承文化を活用し  
たイベントの企画を。

○町民体育館運営概要

・設備の充実、安価  
な料金などで町外者  
の利用も増加してい  
る。施設内の修繕必  
要箇所も計画的な修  
繕を。

○集落街路灯LED化

町営バスフリー乗降  
・街路灯LED化は  
地区町内会の負担軽  
減につながった。バ  
スのフリー乗降開始  
により利用者の利便  
性が向上した。安全  
な運行管理体制の徹  
底を。

○庁舎建設現地概要

・建設にあたっては  
より多くの町民の要  
望を取り入れた実施  
設計となるように。

常任委員会は、議案や請願について詳細に審査する機関です。委員会ではより適切な審査を行うため、毎年所管事項について町内及び県外先進地の現地調査を行っています。

その調査を元に、町に対して評価・改善事項を指摘し、よりよい町政に反映させていくこととしております。(内容要約の上掲載しております)

産業福祉常任委員会

7月4日・5日

(所管する課)

交流課・建設課  
農林課・福祉課  
町立真室川病院  
(調査した箇所、  
評価及び指摘事項)

○「湯ノ前おら家」の  
運営状況

・今もマルシェの開  
催など取り組んでい  
るが、さらなる町の  
活性化、定住・移住  
につなげる企画を。

○ふるさと納税の取り  
組み状況

・返礼品割合の上限  
設定されたが、寄付  
者のリピーターを増  
やせるよう特産品の  
開発を。

○あべ農場の園芸作物  
栽培状況



あべ農場のサトイモ畑

・耕作放棄地の解消  
や雇用促進など町の  
農業政策に貢献して  
いる。町としてなお  
一層の支援を。

○真室川公園整備状況

・利用促進のため関  
係課と連携し、衛生  
管理・健康管理の面  
からも水飲み場の設  
置など検討を。

町としてなお一層の  
支援を。

○町道中村高坂線災害  
防除事業進捗状況

・今年度完成により  
利用者の利便性は大  
幅に向上する。高所  
作業を伴う危険箇所  
の工事のため安全確  
保の徹底を。

○町道詰田沢下小又線  
の状況

・完成まで雪崩等事  
故防止など、冬期間  
の交通確保を。

○町道新及位中ノ股線  
改良事業進捗状況

・難工事区間が終了  
したことから、早期



倒木対策も重要

○田代橋架替工事

完成状況

・完成により安全な  
通行、冬期間の除雪  
など利便性が大幅に  
向上した。他の橋梁  
についても長寿命化  
計画に基づき、事業  
を着実に執行するよ  
うに。

○下三滝橋掛替工事

完成状況



自然に配慮した下三滝橋

・工事の工法につい  
て掘削土量の少ない  
環境に配慮したもの  
で、安全な通行、冬  
期間の除雪の利便性  
が大幅に向上した。

○流雪溝整備状況  
(新町地区)

・町として流雪溝管  
理組合への加入を勧  
めるなど、冬期間の  
円滑な流雪溝使用に  
努められたい。

(新橋通く新栄町地区)  
・排雪作業の利便性

が向上した。事故防  
止のため流雪溝のふ  
たを確実に閉めるよ  
う再度周知の徹底を。  
(宮町地区)

・降雪前に工事が完  
成するよう早期の発  
注を。

○訪問看護ステーション  
の稼働状況

・ステーション設置  
により利用者も地域  
も安心して生活出来  
る。今後、県補助事  
業終了後など、課題  
解消に向けた検討を。

○独居老人世帯への

緊急時対応状況

・緊急通報システム  
導入により、安心し  
た生活が出来る。一  
人世帯に限らず、日  
中家族の就労により  
一人になる世帯など  
から要望もあるため  
対象世帯拡大の検討  
を。

## 町民の声



町連合婦人会 会長  
佐藤 裕子さん

3月、議会最終日、女性議員の質問に合  
わせての傍聴で、中でも子育て支援は家計  
を担う主婦として子育て中の親達誰もが願  
う課題だと思います。副教材の無償化等切  
実に発言する姿勢に感銘を受け、対する関  
係部局の答弁も期待が出来るものでした。  
この質疑答弁をしつかり脳裏に刻み込み夕  
食時の話題にしたところ、普段無口な主人  
と息子夫婦の情報交換が続く、私はこんな  
ひとときが好きです。町民の皆さま方も是  
非足を運ばれては如何でしょう。



## 傍聴お待ちしております

● 次回の  
定例会は

# 9月です

平成30年の本会議議事録は  
町ホームページでもご覧いただけます。

URL <http://www.yume-net.org/>

お問い合わせは \_\_\_\_\_

議会事務局まで

☎62-2111 (内線205)



## 編集を終えて

佐藤勝徳議員が逝去されました。一つだけ  
思い出を。議会でのヤジというものは大抵は  
不快なものです。勝徳さんのそれは「もっ  
と突っ込んで聞け」「自信持ってやれ」と、  
発言者の奮起を促すもので、私も何度も励ま  
されたものです。早すぎる死が残念でなりま  
せん。

常任委員会の再編が行われ、空席となった  
総務文教常任委員長に佐藤正副委員長が就任。  
広報は委員長と副委員長を交代し、私が委員  
長を務めることとなりました。「議会でのや  
りとりを正しく伝え、多くの町民に読んでも  
らえる議会だより」という目標を引き継ぎ、  
さらに発展させるよう、微力を尽くしていま  
います。  
(平野 勝澄)

## 議会広報常任委員会

|    |    |    |      |     |
|----|----|----|------|-----|
| 委員 | 委員 | 委員 | 副委員長 | 委員長 |
| 佐藤 | 高橋 | 佐藤 | 佐藤   | 平野  |
| 栄子 | 秀則 | 成子 | 正    | 勝澄  |